

## 保健診療所の閉鎖について

【ご意見・ご要望】(投稿日:2021年12月17日)

12月1日付で保健診療所の閉鎖が発表されましたが、本件に関連して2点質問があります。

1. 保健診療所の閉鎖を決定するにあたる根拠を具体的なデータで示してほしい

12月8日の掲示によると保健診療所の閉鎖の理由として利用者の減少が挙げられています(<http://www.hoken.kyoto-u.ac.jp/blog/2021/12/08/about-clinic-close/>)。この「利用者の減少」というのは具体的にどのくらいのスパンでどのくらい減少したということなののでしょうか？ また全診療科・全キャンパスでこのような傾向がみられるということでしょうか？ 私が昨年利用した限りでは特に吉田キャンパスの精神科の診察はいつ行っても満員で決して利用者が減少しているという印象は受けませんでした。また仮に直近1~2年で利用者が減少しているとしても、それは紛れもなく新型コロナウイルスの影響で決して潜在的ニーズが減っているわけではないと思います。

2. なぜ12月1日の「補足」という形で8日に追加の掲示を行ったのか

12月1日の閉鎖報告は私たち学生にとってあまりにも突然で、かつ一方的なものでした。もし閉鎖に至る合理的な理由があるのであれば、1日の時点で詳細なデータとともに閉鎖を説明しても良かったはずです。なぜ1日の時点では一方的に閉鎖を通知するにとどまり、8日に再度「補足」という形で閉鎖の背景を説明するという二度手間を踏んだのでしょうか？ 私としてはこのようなことをされると閉鎖という結論ありきで理由は後付けなのではないかと勘繰ってしまいます。

本件に関して学生に対する真摯な説明を望みます。

【回答】(回答日:2021年12月27日)

(回答部署:環境安全保健機構)

【1. のご質問について】

ご意見ありがとうございます。

健康管理部門ホームページに公開しています年報(<http://www.hoken.kyoto-u.ac.jp/welcome/nenpo/>)には平成23年度から受診者数を掲載しております。

令和元年度(最新)までの数値が掲載されていますので、よろしくお願いします。

【2. のご質問について】

ご意見ありがとうございます。

皆様から、12月1日付けの診療終了についての通知内容が不明瞭との多くのご質問・ご意見を頂戴しましたので、これを補うかたちで12月8日付けで学生・環境安全保健担当理事及び環境安全保健機構長名で「学生相談窓口の拡充と保健診療所における一般診療の終了について」の内容の公表をさせていただきました。（<http://www.hoken.kyoto-u.ac.jp/blog/2021/12/08/about-clinic-close/>）

現在、公開できる範囲の内容を掲載させていただいていますので、よろしくお願いします。